

メルマガ全部協プライムニュース

2016 年月 8 号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 編集委員会
 - 2) 事業運営委員会
 - 3) 経営組織委員会
 - 4) 理事会開催
- 4, 全部協「夢と希望」～これからの部品商とは～（その 14）
- 5, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 1) 北海道支部総会開催
 - 2) 第 9 回青森県自動車部品商組合合同展示会 2016 開催
- 6, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計
- 7, 事務局からのお知らせ
 - 1) マツダパーツと会談

- 2) 正副理事長会議開催
- 3) 業界各紙で機関誌と ZEN-ERIC を紹介
- 4) ZEN-ERIC 商標の組合員の利用
- 5) 全部協の夏期休暇案内
- 8, 全部協会議・活動日程
- 9, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 10, 付録
 - 1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ
 - 2) PB 商品の広告
 - 3) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

「1」 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

- イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。
- ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を
発信します。
- ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

「2」 「オートモーティブプライムニュース」とは

- イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。
- ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。
- ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して
参ります。
- ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。
- ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

「

I) 編集委員会

全部協は第5回編集委員会を平成28年7月19日(火)10時から、全部協会議室(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①第2号(7月号)への反響報告
- ②第2号(7月号)の紙面記事内容について
- ③次月号(9月号)の編集の進め方
- ④原稿依頼分担割り振り
- ⑤広告募集について
- ⑥メルマガの新連載記事について

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 第2号(7月号)への反響報告

事務局から、次の報告がありました。

1) 配送部数について

組合員向け	51,739部
賛助会員向け	376部
その他向け	17部
合計	52,132部

それぞれ配送リストを基に説明されました。

2) 反響について

事務局から、創刊号への反響を整理して再度報告されました。

- ・配送断りの部品商からのコメント・・・6件
- ・配送を希望する部品商からのコメント・・・11件
- ・企画当初に配送希望数を募ったときのコメント・・・2件

これらの主なものは、

配送部数の変更や配送の仕方に対するコメントです。

その中で、

- ア) 機関誌を整備工場へ配布する疑問
- イ) 掲載写真についてのおしかり
- ウ) 業界内外の意見を聴いてから（配布するかどうかを）対処するなどのコメントがありました。

今月号（第2号（7月号））に対する反響は事務局ではまだ把握していません。目立った反響が少ない印象を受けています。

2. 第2号（7月号）の紙面記事内容について

1) 内容評価

概ね、今回の内容については理解が得られているとの結論になりました。

2) 見直し点の確認

発行回数を重ねて、各方面の意見を募りながら見直していくことを確認しました。

今のところ、編集方向として第2号から大幅に変えることは無いとの結論になりました。

3) 次回号（9月号）の編集の進め方

イ、フリーに意見交換された事項

- ①法人会の記事に倣い、税制や、消費税延期の影響などを取り上げる
- ②ミラーレス採用動向など、大型車に採用する方向にあるなどの
トレンド紹介
- ③パーク 24 の記事をカーシェアリングの継続記事として取り上げる
- ④エアコンガス点検、CVT オイル交換、などを取り上げ、
車のユーザーへの情報提供の視点で連載していく
- ⑤合わせてオイルメーカーなどから情報提供を募り、
広告の掲載も願います
- ⑥良く交換される特定の自動車部品やリコール情報の掲載
- ⑦自動車購入時に案内されない情報で、実はのちのち、消費者マインドを
損なう大事な情報
- ⑧業界の内部では疑問に思われないことでも、自動車ユーザーから見ると
分かりにくい事柄で、整備工場が自動車ユーザーをキャッチアップする

ポイントになる情報など

ロ、紙面構成について

概ね、現状の紙面構成を踏襲するとして、6面（全部協総代会の記事）に替わる内容を何にするか確認しました。

先（イ）の議論を踏まえて、

- ・9月号については、CVT を取り上げる
- ・11月号は冬のシーズンに向けた内容
（冬用タイヤや、バッテリーなど）
- ・1月号は年始でもあるのでそれに関する記事を優先
- ・3月号はエアコンフィルターなどを取り上げる
等々。

これと合わせて、全部協の活動状況が分かるコラムも6面に掲載することになりました（事務局から記事を提供）。

ハ、スケジュール

8月19日（金）に第6回の編集委員会を開催します。

そのときまでに紙面割りとそのコンテンツ案をJCRから提示して頂き、それをもとに、再度内容について詰めの議論を行うことになりました。

3. 原稿依頼分担割り振り

第8面の継続連載分について、原稿掲載の意向があるか事務局で確認することになりました（顧問弁護士の連載記事）。

4. 広告募集状況について

創刊号の記事内容から、広告依頼に対して掲載断りの傾向がありました。

第2号についてはコンテンツが改まっているので、継続して広告掲載を募っていくことが確認されました。

広告収入により機関誌継続が成り立つので、早期に採算ラインへ載ることが期待されます。

5. メルマガの新連載記事について

委員会メンバー便りの終了により、代わりに記事について意見交換

しました。

委員会メンバー便りは、部品商同士互いに知り合うことを趣旨としてはじめた経緯があります。その意味で、今後は、支部（地方組合）のメンバー紹介等に変更していくことが話し合われました。

次回事業委員会で、メルマガを SNS に変えていくことも議論されることから、そのことを踏まえ、コンテンツも合わせて検討することになりました。

Ⅱ) 事業運営委員会

全部協は第 12 回事業運営委員会を情報専門部会と合同で平成 28 年 7 月 27 日（水）11 時 15 分から、全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①新メンバー紹介
 - ②WEB 共通互換品番検索利用拠点報賞（H27/第 4、H28/第 1）
 - ③共同購買事業利用実績報告
 - ④平成 28 年度事業方針について
 - ⑤メルマガ発行を SNS 利用へ変更（転換）について
 - ⑥協力事業社との打合せ
- ※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 新メンバー紹介

事務局から平成 28 年度に編成替えとなった委員会メンバーの紹介がなされました。

山下委員長（愛知）
上島副委員長（兵庫）
中谷委員（新任、北海道）
水上委員（福島）
新井委員（群馬）
北垣内委員（広島）
平尾委員（福岡）
平山委員（新任、熊本）

宮田祐市委員（新任、北海道、情報専門部会）

黒田委員（新任、岐阜、情報専門部会）

竹之下委員（宮崎、情報専門部会）

2. WEB 共通互換品番検索利用拠点報賞（H27/第4四半期、H28/第1四半期）
事務局から平成27年度第4四半期と平成28年度第1四半期の報賞が
報告され、承認されました。次の各社に報奨金と商品券が送られます。

1) 平成27年度第4四半期のデータ入力報賞対象者

- 第1位 ダイヤ自動車(株) 福島営業所 3,600点 報賞金3万円
- 第2位 (有)木下部品 本店 1,500点 報賞金2万円
- 第3位 阪神自動車用品(株) 本店 1,040点 報賞金1万円
- 第4位 三和自動車商事(株) 本店 580点 商品券
- 第5位 (株)福博モーター商会 本店 540点 商品券
- 第6位 (有)梅原自動車部品 本店 530点 商品券
- 第7位 (株)新潟テエス 本社 400点 商品券
- 第8位 三徳部品(株) 本社 270点 商品券

2) 平成28年度第1四半期のデータ入力報賞対象者

- 第1位 ダイヤ自動車(株) 福島営業所 13,000点 報賞金3万円
- 第2位 (有)梅原自動車部品 本店 10,000点 報賞金2万円
- 第3位 (有)木下部品 本店 3,960点 報賞金1万円
- 第4位 (株)千葉商会 本店 760点 商品券
- 第5位 (有)盛岡自動車部品 本店 501点 商品券
- 第6位 (有)竹浪商会 本店 330点 商品券
- 第7位 (株)キタザワ 本社 280点 商品券
- 第8位 三和自動車商事(株) 本社 271点 商品券

3. 共同購買事業利用実績報告

事務局から第1四半期（4月～6月）の「共同購買サイト」と
あっせん販売の利用状況が報告されました。

1) 共同購買サイト利用状況

前年度に比べ、利用件数と取引金額（約2倍強）が増えている。
しかし、利用組合員数は3ヶ月の延べでも30社とまだ467社中6.3%と
極めて少ない。

2) あっせん販売事業利用状況

あっせん商品としてタイヤ2社、ガラス1社、AdBlue (R) 1社、の3ヶ月売り上げは、596万円弱(月平均200万円弱)。

内訳は、ガラス385万円、タイヤ133万円、の順。

残りのAdBlue (R) は利用組合員(少数)のリピーターがほとんど。

また、タイヤ2社(オートウェイ、ハンコック)の内、オートウェイが80%を占めており、ハンコックの既存取引のカウントが無い事が影響している。

3) 意見交換

実績を踏まえ、以下の2件について、意見交換され、対策が話し合われました。

① あっせん企業からの手数料徴収について

② タイヤ販売(オートウェイ)の販売量(取り扱い組合員数)確認について

4. 平成28年度事業方針について

事業運営委員会に関わる平成28年度事業計画について事務局から整理報告がありました。以下の事柄について、意見交換がなされました。活動日程の確認を除き、他の案件は、今後の委員会の議論の中で具体的に詰めていくことが確認されました。

1) ZEN-ERIC 商品普及促進キャンペーン実施方法

2) 共同購買・あっせん販売事業の方針

3) 情報専門部会の取り組みテーマと活動計画について

4) 情報提供活動

5) 部品検索システムの普及策について

6) 委員会活動日程について

5. メルマガ発行をSNS利用へ変更(転換)について

編集委員会で、「メルマガ全部協プライムニュース」をメール配信から、フェイスブックなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用した配信方式に変更する提案がなされ、その方法について意見交換されました。

SNS での情報発信は、業界団体でも標準になっており、速報性と即時性において伝達媒体として優れています。

しかし、利用できない組合員もいることから、当面メルマガとの並行で SNS による情報発信を行う事を確認しました。

SNS の立ち上げは、情報専門部会で行います。

6. 協力事業社との打合せ

ZEN-ERIC ブランド商品を組合員がより取扱いやすいようにするために、協力企業との話し合いを行いました。

- 1) ZEN-ERIC 商品の部品検索システムとの連携
- 2) ZEN-ERIC ワイパー開発商品の進捗状況
- 3) ZEN-ERIC ブレーキパッドの販売状況

Ⅲ) 経営組織委員会

全部協は第 12 回経営組織委員会を平成 28 年 7 月 28 日（木）11 時 15 分から、全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①新メンバー紹介
- ②賛助会員の新規加入について
- ③平成 28 年度事業計画の方針について
- ④機関誌への反響とその対応について
- ⑤「全部協と異なる、部品商による外部組織」に対する組合員からの問い合わせ対応について
- ⑥第 28 回理事会（8 月 4 日）への上程議案について
- ⑦その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 新メンバー紹介

事務局から平成 28 年度に編成替えとなった委員会メンバーの紹介がなされました。

森川委員長（埼玉）
宮田正昭委員（新任、北海道）
佐藤委員（宮城）
前田委員（長野）
柄崎委員（石川）
香川委員（大阪）
布施委員（広島）
森委員（新任、愛媛）
木下委員（熊本）

2. 賛助会員の新規加入について

事務局から賛助会員への新規加入申込み企業の紹介がなされました。
次回理事会（8月4日開催）で承認される見込みです。

企業名：（有）TAPS INC. 群馬県高崎市
代表者名：代表取締役 津田晃吉氏
設立年月日：2005年8月12日
資本金：300万円
業種：部品メーカー
加入申込み日：平成28年5月19日

3. 平成28年度事業計画の方針について

経営組織委員会に係わる平成28年度事業計画について委員会メンバーにより意見交換がなされました。

1) 自動車部品・用品の流通等に関する調査・研究事業

本事業については、昨年同様に28年度も統計調査を実施することが確認されました。

2) 団体交渉及び団体協約の締結に関する事業

本事業については、以下の懇談会を行うことになりました。

- ① 純正販社との懇談会
- ② 優良部品販売会社（卸商社）との懇談会

3) 教育及び情報の提供に関する事業

本事業については以下の細目が挙げられており、それぞれについて

具体的に遂行していくことが確認されました。

- ①経営管理及び営業販売力の向上を図る為の研修会と情報提供を行う
- ②「部品商の経営改善及び人材育成」の研修会・講習会を開催する
- ③機関誌を組合員に配布し顧客志向の情報を発信する
- ④全部協の支部、ブロック協議会及び本部の事業活動について、
毎月1回「メルマガ全部協ニュース」などを用いて組合員に共有する
- ⑤組合員の取り扱う部品・用品の流通等に関する情報の収集及び
提供を行う

4) 組合員の福利厚生等に関する事業

団体生命保険及びPL保険への加入促進を行い、加入数増の実効を上げる。

5) 関連する付帯事業

付帯的事业として、以下を推進する。

- ①全国8ブロック（各ブロック協議会を含む）及び各県支部で
会議等の開催
- ②組合の組織・財政問題、教育・情報提供、広報及び
共同事業実施項目等に関する基本的事項を主催し改善を図る
- ③純正部品販売会社との取引条件の改善問題に関する
基本的事項について確認し、懇談会への議題として掲げる

6) 自動車関係団体の統一事業への協力

事務局を中心に以下を取り組む

- ①自動車関係団体の統一事業への協力
- ②経済産業省への協力

7) 委員会会議日程について

年間カレンダーを基に委員会日程が確認されました。

8) 自動車メーカー、純正販社との懇談会日程

マツダパーツ、スズキ、本田技研工業と今年中の懇談会開催を
申し入れる事が確認されました。

4, 機関誌への反響とその対応について

機関誌の創刊号へ寄せられた組合員からの意見が紹介されました。
今後とも組合員からの意見を募り編集に活かしていくことが報告
されました。

5, あらたに発足した「全部協と異なる、部品商による外部組織」に対する
組合員からの問い合わせ対応について

次の対応を採ることになりました。

- 1) 「全部協と異なる、部品商による外部組織」発足は全部協とは
関わりが無い
- 2) 他の多くの組合員にとっても同様に関わりが無い
- 3) 「全部協と異なる、部品商による外部組織」に関する関心も
下火になりつつあり、あまり取り上げられなくなった
- 4) 従って、全部協の見解表明は、問い合わせがあった賛助会員や
組合員に限り、電話等で応えることに止める（見解は、経営組織
委員会で報告されたものとする）

6, 第 28 回理事会（8 月 4 日）への上程議案について

次回理事会（第 28 回定例理事会）に上程する議案について
確認されました。

- 1) ブロック協議会での外部講師への謝金について
- 2) メルマガ発行 SNS 利用移行提案
- 3) 訪米視察訪問計画について
- 4) 業務用封筒に ZEN-ERIC ロゴ掲載

7, その他

懸案となっている事項について、整理確認されました。

- 1) 地方説明会、展示会、開催計画の立て方
- 2) 財政改善への取り組み方について

全部協は第 28 回定例理事会を平成 28 年 8 月 4 日（水）13 時から、ニュー新橋ビル地下 2 階会議室（東京港区新橋）で開催しました。

議題等は、以下の通りです。

- ①組合員の異動状況
- ②賛助会員の加入承認について
- ③ブロック協議会での講師への謝金について
- ④PM.NS に ZEN-ERIC 商品マスター組み入れについて
- ⑤メルマガを SNS 利用移行について
- ⑥業務用封筒に ZEN-ERIC 商標記載について
- ⑦その他 報告事項
- ⑧経産省自動車課によるご講演

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 組合員の異動状況

現在の組合員の異動状況が事務局から報告されました。

平成 23 年 7 月発足時点	組合員数	454 企業
平成 24 年 3 月末時点	同上	457 企業（新規 9、脱退 6）
平成 25 年 3 月末時点	〃	465 企業（新規 19、脱退 11）
平成 26 年 3 月末時点	〃	477 企業（新規 25、脱退 13）
平成 27 年 3 月末時点	〃	470 企業（新規 2、脱退 9）
平成 28 年 3 月末時点	〃	465 企業（新規 6、脱退 11）
平成 28 年 7 月末時点	〃	467 企業（新規 2）

今までの全脱退 50 の内、法定脱退が 24 で 48%を占めています。
約半分が、自主廃業ないし倒産による脱退でした。

2. 賛助会員の加入承認について

事務局（専務理事、以下同じ）から資料を基に、賛助会員の加入申し込みについて諮られ、全会一致で承認されました。

◎賛助会員の加入

（有）TAPS NC（タップスインク）群馬県高崎市 代表者 津田晃吉
業種：部品メーカー及び輸入部品の卸販売
資本金：300 万円、設立：2005 年 8 月 12 日
加入申請日 平成 28 年 5 月 19 日。

3. ブロック協議会での講師への謝金について

事務局から東北ブロック協議会（8月23日開催予定）と近畿ブロック協議会（11月12日開催予定）で予定している講師への謝金取り決めについて諮られ、全会一致で承認されました。

平成26年8月7日施行の委員謝金等支給規定に基づき、第2条第（1）の研修会等における講師謝金にて支払うこととなります。

4. PM.NSにZEN-ERiC商品マスター組み入れについて（覚書取り交わし）

部品商の多くが利用している部品検索システムに優良部品と同様にZEN-ERiC商品データを登録する事により、ZEN-ERiC商品の利用が促進されます。

このことから、ZEN-ERiC商品（補修部品）の商品マスターをブロードリーフのパーツマンに組み入れることの提案が事業運営委員会からなされました。

これに関連することとして、ZEN-ERiC商品データをブロードリーフに提供することについて、覚書を取り交わす事が当理事会に諮られ、全会一致で承認されました。

これにより、共同購買事業で取り組んでいる、ZEN-ERiC商品、及び、関連のあっせん販売商品の販売が促進されることが期待されます。

5. メルマガをSNS利用移行について

情報発信媒体としてソーシャルネットワークサービス（SNS）を利用する提案が事業運営委員会と経営組織委員会からなされ、実施に移すことが全会一致で承認されました。

付帯条件として、利用できない組合員もいることから、向こう1年間を目途に「メルマガ全部協プライムニュース」と並行してSNS（フェイスブック）による情報発信を行う事。及び、SNSの立ち上げは、事業運営委員会（情報専門部会）で行うことが、確認されました。

6. 業務用封筒にZEN-ERiC商標記載について

事務局から、全部協の業務用封筒にZEN-ERiC商標を掲載することの提案がなされ、全会一致で承認されました。

これにより、ZEN-ERiCブランドがいままで以上に各方面に行き渡ることとなります。封筒の色は現在のクラフト紙色（ベージュ）からZEN-ERiCカラーの白地に変わります。新たな、印刷注文時から実施に

移すことになりました。

7. その他 報告事項

1) 今年度の理事会、委員会、総代会開催日程

カレンダーにより、今年度の理事会、委員会、総代会の開催日程が報告確認されました。

いずれも、変更するに足る大きな事件・事故などの特別の事情がない限りスケジュールどおり実施することが確認されました。

2) 第 29 回定例理事会（10 月 20 日・木）開催について

次回理事会（第 29 回定例理事会）が青森県弘前市で行うことになっていることから、その段取りについて事務局から報告されました。

- 1) 理事会会場
- 2) 会場へのアクセス
- 3) スケジュール
- 4) 宿泊手配 等々

3) 訪米視察ツアー募集について

訪米視察ツアーの準備状況が事務局から報告されました。訪問先との日程確認が遅れており、詳細を確定できない状況です。

仲介の米国領事館と米国商務省の担当者との連絡が円滑でないことから、代替策も検討していることが報告されました。

4) 「WEB 共通互換品番検索システム」年間報賞について

事業運営委員会において、四半期毎にデータ入力協力企業へ報賞を贈っていますが、年間を通しての報賞も検討すべきとする意見が出されています。その対応を検討していることが報告されました。理事会では実施の方向が概ね了承されました。

5) その他諸々

① 団体定期保険加入状況

事務局から団体保険の加入状況の資料が配付され、加入していない地元地域の組合員に対して、理事役員が主体的に加入要請を行うことが申し合わされました。

②機関誌への反響（創刊号に対して）

編集委員会で取りまとめた、機関誌創刊号への反響内容が報告されました。

③全部協と別の組織（AAC）について

全部協と別の組織として、組合員部品商の有志による委員会が全部協の外部に立ち上がりました（AAC）。その事務局は全部協が機関誌を発行委託しているところと同一であることから、各方面から全部協に対して多くの質問が寄せられています。

本件については、全部協は全く関知していません。そのため誤解を避けるために問い合わせに対して具体的な見解を示すことを保留してきました。

しかし、このことが組合員と賛助会員に憶測と疑念を与える結果を招いていることから、組合員及び賛助会員向けに全部協としての見解を示すことが報告されました。

経営組織委員会の意向を受けて、全部協の見解は以下の理由から問い合わせがあった組合員と賛助会員のみへ答えることになりました。

イ、AAC 発足は全部協とは全く関わりが無い

ロ、ほとんどの多くの組合員にとっても同様に関知することではない

ハ、AAC への関心もピークが過ぎ、あまり取り上げられなくなった

ニ、従って、問い合わせがあった賛助会員や組合員に限り、電話等で答えることに止める

とするものです。

④青森県自動車部品商組合合同展示会 2016

「第9回青森県自動車部品商組合合同展示会 2016」の開催案内が配布されました。

期日：9月10日（土）～11日（日）

会場：青森産業会館（一般財団法人青森市産業振興財団）

〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4丁目4番1号

問い合わせ先：青森県自動車部品商組合事務局

(株) フジモーターズ

〒036-8076 青森県弘前市境関 1-1-7

TEL 0172-27-4221 FAX 0172-27-3350

⑤全部協の夏期休暇について

例年に倣い、全部協（事務局）の夏期休暇を以下のとおり実施することが報告されました。

夏期休暇期間：平成 28 年 8 月 13 日（土）～16 日（火）

◎夏期休暇中の電話は自動音声応答となります

◎その他各種お問い合わせについては、8 月 17 日以降の対応となります

8. 経産省自動車課によるご講演

経済産業省製造産業局自動車課、太田課長補佐から最近の自動車産業構造の変化と TPP に関わる公表されている情報についてご講演を頂きました。

4 | 全部協「夢と希望」～これからの部品商とは～（その 14）

全日本自動車部品卸商共同組合
新戸部八州男理事長

題名「足元（現場）は大丈夫ですか？」

添付の PDF データ「01_zenbukyo-yumetokibo-014.pdf」をご覧ください。

5 | 支部・ブロック協議会活動報告

1, 北海道支部総会開催（平成 28 年 7 月 5 日）

北海道支部（北海道自動車部品商組合、宮田正昭理事長、（株）宮田自動車商会）は 7 月 5 日 16 時 30 分から、札幌市中央区のホテル・モントレエーデルホフ札幌にて第 37 期（平成 28 年度）通常総会を開催しました（北海道組員：全 20 社）。全部協からは専務理事が出席いたしました。

議題は、以下のとおりです。

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告ならびに収支決算報告

第 2 号議案 監事の監査報告

第 3 号議案 余剰金の処分案について

第 4 号議案 平成 28 年度事業計画案ならびに収支予算案について

第 5 号議案 役員改選について

第 6 号議案 その他について

いずれも異議無く満場一致で可決されました。

今回の役員改選で、新役員が決まりました。

理事長 （株）宮田自動車商会 代表取締役社長 宮田祐市 氏
副理事長 長尾部品（株）代表取締役社長 亀山直基 氏
副理事長 三和商行（株）代表取締役社長 茂田晃男 氏
理 事 佐藤車輛部品（株）代表取締役社長 佐藤喜勝 氏
理 事 岩見沢日通自工（株）代表取締役社長 道下将秀 氏
理 事 大成自動車（株）代表取締役社長 大角敏朗 氏
理 事 帝北自動車（株）代表取締役社長 河原哲也 氏
理 事 室蘭部品（株）代表取締役社長 齋藤隆志 氏
理 事 松田部品（株）代表取締役社長 松田壽夫 氏
理 事 （株）シバタ 代表取締役社長 柴田博美 氏
理 事 旭川モータース（株）代表取締役社長 岩城敦司 氏

総会終了後は、懇親会が催され、和やかな内に全日程を終了いたしました。

2, 第 9 回青森県自動車部品商組合合同展示会 2016 開催

青森県自動車部品商組合は下記の期間、合同展示会を開催します。

合同展示会：期間 9 月 10 日 13 時～20 時、9 月 11 日 10 時～16 時

場所 青森産業会館

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目 4 番 1 号

[TEL:017-739-1811](tel:017-739-1811) / FAX:017-739-1800

テーマ：「カーユーズ様をもっと集めよう」

販売力・営業力・提案力を強化！

プロこだわりの整備機器をご提案します

お問い合わせは：青森県自動車部品商組合事務局

株式会社フジモーターズ内

〒036-8076 青森県弘前市境関 1-1-7

TEL 0172-27-4221 FAX 0172-27-3350

| 6 | 統計情報

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001140388.pdf>

優良認定工場数（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001140389.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2016年07月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2016年7月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

| 7 | 事務局からのお知らせ

1、マツダパーツ(株)から会談申し入れ（7月13日）

7月13日にマツダパーツ(株)からの申出により、全部協にて会談しました。

会談の趣旨は、マツダパーツの人事異動に伴う挨拶です。

面談者は、

マツダパーツ：小島常務、和田マネージャー

全部協：森川経営組織委員会委員長、事務局（専務理事他）です。

会談の内容は挨拶が主なものでした。その中で、今後の会談の都合を双方で確認しました。懸案を話し合うために9月頃を目途に次回の会談を予定することを申し合わせています。

本件は、マツダパーツの今までの取り組み姿勢が優柔不断で会談の成果がなかなか上がらないことから、全部協の取引改善専門部会の委員から、さまざまなルートを通して会談を促す工作が功を奏し、先方からの会談申し入れを強く促したものです。

2. 正副理事長会議開催しました（7月22日）

平成28年7月22日（金）13:00から、全部協会議室にて正副理事長会議を開催しました。議題は、以下のとおりです。

平成28年度に替わって初めての正副理事長会議であることから、総代会で承認された各計画事業の基本的な取り組み方と進め方を議論しました。そして、この会議の後に引き続き予定されている事業運営委員会と経営組織委員会及び理事会へ上程する議案について予め意見交換を行いました。

この会議での意見交換の内容は、それぞれの委員会と理事会の議論に反映されていますので、それを参照下さい。

<正副理事長会議の議題>

- (1) 「全部協と別の組織（AAC）」への全部協の正式見解と対応について
- (2) 平成28年度事業計画と委員会活動について
 - ①委員会メンバー紹介
 - ②委員会開催日程確認
 - ③純正販売・メーカーとの懇談会日程方針確認
マツダパーツ、スズキ、本田技研工業、他
 - ④点検整備強化月間（9月～10月）と交換部品キャンペーン実施について
- (3) 訪米視察訪問計画（NAPA、LKQ訪問など）の詳細について
 - ①ツアー募集案内様式確認
 - ②募集スケジュール確認
 - ③訪問先とのスケジュール確認
 - ④訪問メンバー構成について

(4) 次回理事会（第28回定例理事会）の議題について

- ①第29回理事会開催スケジュール確認
- ②賛助会員の加入について
- ③その他

(5) その他諸々

- ①機関誌への組合員からの反応
- ②JCRからの要請について（機関誌と同時配送の依頼：東京IT新聞）
- ③事務用封筒にZEN-ERIC商標記載について
- ④地方説明会の開催計画
- ⑤地方展示会の開催計画
- ⑥全部協財務体質改善について
- ⑦将来に向けた事務局体制について
- ⑧団体定期保険募集・脱退状況 等々

3, 「WEB共通互換品番検索システムのページが表示されません」について

7月頃から、全部協の「WEB共通互換品番検索システム」にログインできない問合せが多くなっています。

その原因の主なものは、旧アドレス（URL）を使う事によるものです。

昨年7月3日に、全部協から新「WEB互換品番検索システム」への移行案内をお送りしており、その中の移行要領に、旧アドレスのショートカットは使えないことを、ご案内しております。

「WEB共通互換品番検索システムのページが表示されません」が表示された場合は、全部協ホームページから新たな事前準備プログラムをダウンロードして頂き、新たな事前準備プログラムから、ご登録の電話番号を入力してご利用下さい。

4, 業界各紙で機関誌とZEN-ERICを紹介

全部協では各種メディアを使い、情報発信に努めていますが、この度次の業界2紙にZEN-ERIC商品と機関誌オートモーティブプライムニュースが掲載されました。

- ・陸運情報（北海道中心の業界紙）7月21日版：ZEN-ERIC商品
- ・自動車タイムス8月5日版：オートモーティブプライムニュース

著作権の制約から紙面そのものをご紹介できませんが、詳しい内容は、それぞれの紙面でご確認下さい。

5, ZEN-ERIC商標の組合員の利用

全部協では事務用封筒を刷新するのに合わせて、ZEN-ERiC 商標を掲載することになりました。

これを契機に、全部協組合員には、ZEN-ERiC 商標を自社でご利用いただく事ができる様に致します。この件は第 28 回理事会で提案があり、了承されました。

全部協組合員は、各種チラシや名刺および封筒などにご利用いただく事ができます。

これらにより、ZEN-ERiC ブランドの普及促進に広く寄与できるものと期待しています。

ZEN-ERiC 商標利用のご希望がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

現在、ZEN-ERiC 商標ロゴを全部協のホームページの組合員ルームからダウンロードできるように準備しています。

6. 全部協の夏期休暇案内

例年に倣い全部協は下記期間を夏期休暇と致します。

◎全部協夏期休暇：8月13日（土）～16日（火）

この期間のお電話は、自動音声応答となります。

その他の各種お問い合わせは、明けの17日からの対応となりますので、ご了承願います。

8 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては

添付の PDF データ「02_h28kaigiyotei-nenkan-08.pdf」をご覧ください。

9 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の

配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

10 | 付録

1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ

添付の PDF データ

「03_h28jst_poster.pdf」 「04_h28jst_chirashi.pdf」

をご覧ください。

2) PB 商品の広告

添付の PDF データ 「05_PBpr.pdf」 をご覧ください。

3) その他の広告リンク

ショウワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）
〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F
TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909
E-mail: primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局

_____ ESET NOD32 Antivirus からの情報, ウイルス定義データベースのバージョン
13936 (20160809) _____

このメッセージは ESET NOD32 Antivirus によって検査済みです。

<http://canon-its.jp>